

令和 2 年度岐阜県計画に関する 事後評価

**令和 5 年 11 月
岐阜県**

※令和 4 年度執行事業への財源充当分個票のみ掲載

V 医療従事者等の確保養成・勤務環境改善

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.37】 地域医療確保事業費	【総事業費】 188,355 千円
事業の対象となる区域	県全域	
事業の実施主体	市町村（一部事務組合を含む）	
事業の期間	令和2年4月1日～令和5年3月31日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	本県は、人口10万人当たりの医療施設従事医師数は215.1人（全国37位）と、全国平均数235.9人を大きく下回り、医師不足は深刻な状態となっており、加えて医師の地域偏在も存在している。 偏在を解消するためには、各地域の実情に応じた対策を行う必要がある。	
	アウトカム指標：人口10万人対医療施設従事医師数の増加 215.1人（H30調査）→235.9人（R5調査）	
事業の内容（当初計画）	主として医師、看護師の確保を目的として、市町村（一部事務組合を含む）が実施する地域医療確保策（ソフト事業）に対して補助を行う。 【対象事業例】 ・地域医療に関する寄附講座事業 ・医学生・看護学生への修学資金貸与事業 ・医学生の地域医療実習 ・医療講演会の開催 など	
アウトプット指標（当初の目標値）	・寄附講座事業数 5講座 ・医学生修学資金の貸与者 5名以上 ・看護学生修学資金の貸与者 40名以上 ・医学生の地域医療実習 1回以上 ・医療講演会 1回以上	
アウトプット指標（達成値）	・寄附講座事業数 10講座 ・医学生修学資金の貸与者 5名 ・看護学生修学資金の貸与者 38名 ・医学生の地域医療実習 1回 ・医療講演会 1回	
事業の有効性・効率性	事業終了後1年以内のアウトカム指標：人口10万人対医療施設従事医師数の増加 ※三師調査を基にしており直近データはR2時点となるため、観察できなかった。	

	<p>○代替的な指標として、臨床研修医の採用人数 144人（募集定員192人中）（R3） →141人（募集定員188人中）（R4） 採用人数は減少しているが、採用率（採用人数/募集定員）は 75%（R3）→75%（R4）と横ばいである。</p> <p>また、志望者が一部で若干名不足したことにより看護学生修学 資金貸与者の目標未達となったが、本事業により一定の看護学生 の確保が行われていることから、依然として有効性が担保され ていると考えられる。引き続き目標達成に向けて事業を継続して いく。</p> <p>（1）事業の有効性 医師及び看護師の確保のため、市町村が主体となって行う地域 の特性に応じた地域医療確保対策に係る事業に要する経費に対 し、支援することにより、医師確保等の地域医療確保策を促進す ることができた。</p> <p>（2）事業の効率性 県内各圏域の保健所を通じて事業の照会を行うことにより、適 切に地域のニーズをくみ取ることができたと考える。</p>
その他	